

第8回九州都市対抗軟式野球選手権大分県大会実施要項

主 催 大分県軟式野球連盟

後 援 大 分 県 体 育 協 会

後 援 大 分 合 同 新 聞 社

1. 期 日 平成30年10月13日(土)、14日(日) (雨天順延)
2. 場 所 ダイハツ九州スタジアム、ダイハツ軟式野球場、院内平成の森野球場、真玉球場
3. 参 加 資 格
 - (1) 所属支部の支部長の推薦を受けたA・B・Cクラスのチーム。
 - (2) 1チームのメンバーは監督を含め20名以内であること。
 - (3) 大分支部は7チーム、鶴崎支部は2チーム、別府支部は2チーム、他各支部は1チームの参加ができる。
 - (4) 今年6月開催の国体予選会大分県大会、7月の天皇賜杯大分県大会、9月の西日本選手権大分県大会の優勝チームは、この県大会に出場できない。
4. 参 加 申 込「大分県軟式野球連盟事務局」宛
TEL 097-532-7133 FAX 097-532-9914
平成30年10月2日(火)迄に規定の申込書でFAX電送のこと。
参加料は各支部へ25,000円納入のこと。
5. 抽 選 会 平成30年3月17日(土) 大分県連会議室
各支部理事長の一括代理抽選を行う。
6. 大 会 規 則 試合当日オーダー交換時、責任者より説明を行う。
7. 九 州 大 会 11月17日(土)から3日間 福岡県北九州市(大分県代表は2チーム)
8. 使 用 球 ダイワマルエスボール(公認M号)
9. そ の 他
 - (1) 支部長は申込書の確認をしFAXして下さい。
 - (2) 県大会を棄権した場合、支部は翌年の出場枠を失うこととなる。
 - (3) 各球場ともゴミ類は各自で持って帰ること。
 - (4) 各球場とも補助グラウンドがないのでキャッチボール程度に。
 - (5) マナーを守りましょう。

大分県軟式野球連盟

会長 佐 保 洋 介

(公印省略)

第8回九州都市対抗軟式野球大分県大会 組合せ表

大会日程:平成30年10月13、14日(2日間)雨天順延

1)ゲームは9回戦とする。

2)10月13日(土)の1、2回戦は2時間の時間制とする。(100分を超えて新しいイニングには入らない)

3)コールドゲームは5回以降7点差とする。(代表決定戦は7回以降7点差とする。)

4)延長戦は判定戦とする。

5)判定戦は無死満塁、継続打者で行う。

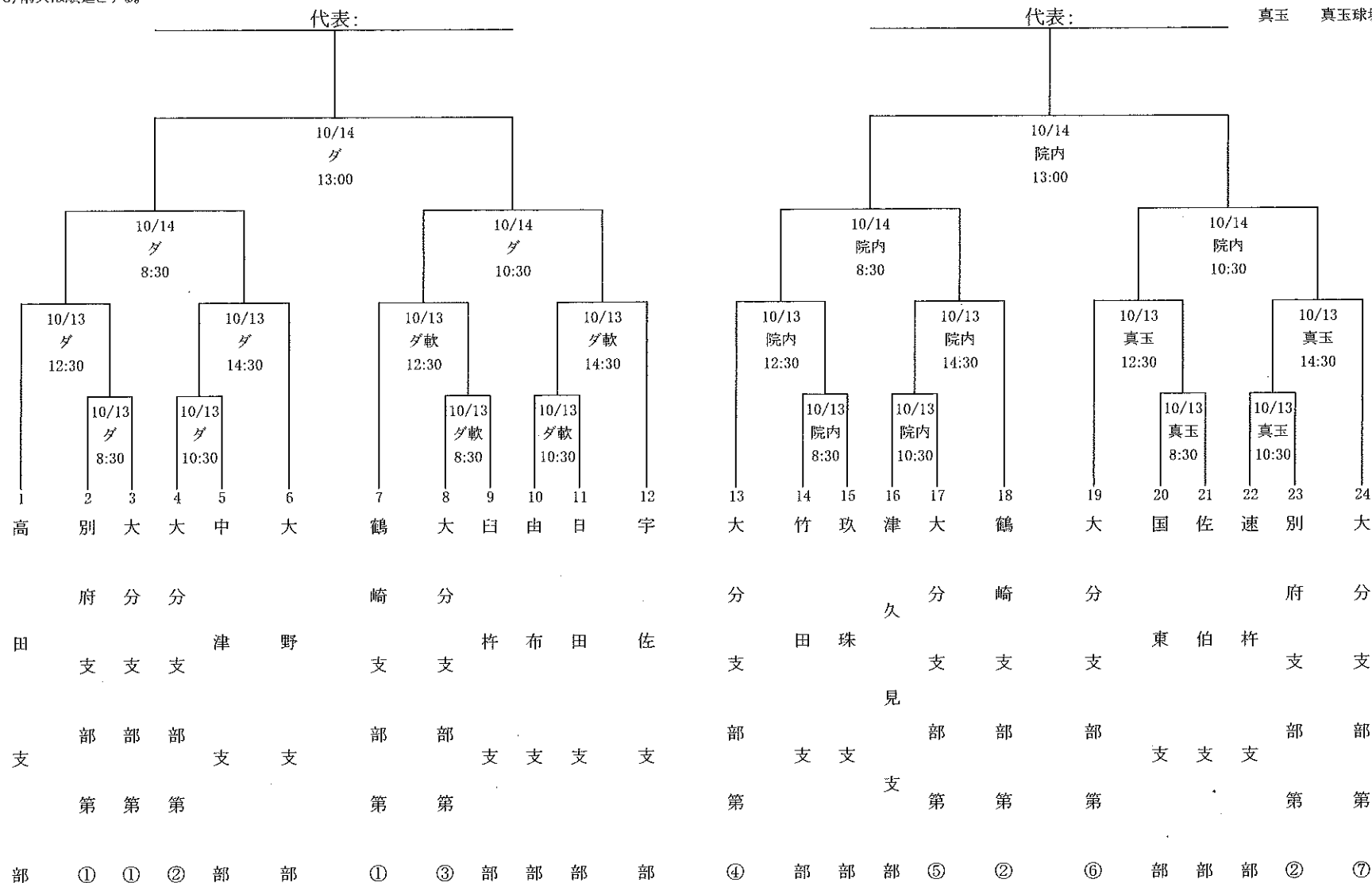
6)雨天は順延とする。

大分県軟式野球連盟 097-532-7133

※雨天連絡 AM7時

(連絡先:米津事務局長 090-2087-7644)

ダ ダイハツ九州スタジアム
ダ軟 ダイハツ軟式
院内 院内平成の森
真玉 真玉球場



★競技運営に関する申し合わせ事項（一般の部）★

県大会は、今年度野球規則及び競技者必携による他、下記の申し合わせ事項により行う。

1. 監督会議での説明または申し合わせ事項は、チーム全員に徹底させること。
2. ダッグアウトは、組合せ表の若い番号を1塁側とする。
(ただし、ダブルヘッダーの場合、時間の都合で変更することもありうる。)
3. 競技に参加する各チームは、試合開始時刻60分前に球場に参集し、試合開始30分前までに、監督または主将が打順表を本部に提出すること。(必ずユニフォーム着用)
○第2試合以降のチームは、前の試合4回終了時にメンバー表4部を提出のこと。
○打順表には、登録されている者全員を記入(フルネーム・フリガナ)すること。
※大勢が整っている時は、試合開始予定時刻前でも試合を開始する。
4. (1) 一般Aクラスの試合について
○試合は9回戦とする。
○延長戦は、準決勝戦までは、10回表から特別延長戦を行う。
○決勝戦は延長戦を3回実施し、決しない場合は13回表から特別延長戦を行う。
○特別延長戦は無死満塁、打者継続、勝敗の決するまで行う。
○コールドゲームは、5回以降7点差とする。
○降雨、日没などで試合を変更する場合は、球場責任者の判断により両チームの監督に伝達する。
(2) 他のクラスの試合について
○試合は7回戦とする。
○延長戦は、準決勝戦までは、8回表から特別延長戦を行う。
○決勝戦は延長戦を2回実施し、決しない場合は10回表から特別延長戦を行う。
○特別延長戦、コールドゲームなどについては、上記の一般Aクラスに準ずる。
○九州成年大会、日本スポーツマスターズ大会は指名打者制を採用する。
5. 試合中は次の行為を禁止する。
(1) ベンチ内でのガム、喫煙。喫煙のために試合中にベンチ外に出ることは禁止する。
(2) ベンチからの好ましくない野次。
(3) プレイヤー、審判員に対する個人攻撃。(目にあまる行為は嚴重に処分する。)
(4) ベンチ内での携帯電話及び携帯マイクの使用を禁ずる。メガホンは1個に限る。
6. 試合はホームプレートを挟んで挨拶のときに、正規のユニフォームを着用した10名以上の選手がいなければならない。
7. 抗議のできる者は、監督または主将と当該プレーヤーのみとする。
8. ランナーズコーチも必ずヘルメットを着用すること。
9. 次打者は、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。低い姿勢で待つこと。
10. 試合をスピーディーに行うため、攻守交代は駆け足で行うこと。投手の投球練習は1回目と投手交代時は、7球(1分以内)2回以降は4球以内とする。
11. 攻守交代の最後のボール保持者は、マウンドにボールを置いてベンチに戻ること。
12. 試合中、選手がスパイクの紐を結び直すため等のタイムは認めない。攻撃中ベンチ内で締め直すように心掛けること。
13. ファウルボールは一塁側、三塁側へ飛んだ方向のベンチ側が処理し、中間は攻撃側チームが処理する。主審へのボール渡しも適時攻撃チームが行うこと。
14. 試合中、内野手の転送球は一廻り以内とし、定位置付近で行うこと。
(試合状況により制限することもある。)
15. アンフェアな行為、スポーツマンシップに則しない行為は慎むこと。
(インターフェア、オブストラクションを厳しく適用する。)
16. 試合中はみだりにベンチから出ないこととする。キャッチボールは2組迄とする。
17. 球場内では、練習中でもユニフォーム(統一したもの)を着用すること。
18. 天候状況によりサングラスの着用は認めるが、帽子のツバに乘せることは禁ずる。
19. 捕手は安全のためファウルカップを着用すること。
なお、投球練習時の捕手は、必ずマスクを着用することとする。
20. 試合終了後のグラウンド整備は必ず両チームで行うこと。ベンチの清掃も行うこと。